

NPO 法人 京都コミュニティ放送  
第 153 回 番組審議会

開催日時：2022 年 12 月 22 日（木）10：30～11：30

会 場：ラジオカフェ事務所、Zoom 併用

委 員：中村正、岡田真彰、岡本卓也、ジェフ・バーグランド、福井秀彦

欠 席：岡田芳宏、隅井美沙子

事務局：藤本香

ゲスト：「いち・に・の三条ラジオカフェ」<https://radiocafe.jp/202210010/>

毎週月曜日 12:00-12:30（30分番組）

制作者：NPO 法人京都コミュニティ放送 / 藤本香・西村遙加

■番組審議：番組趣旨の説明

局制作の番組として、地域に開けた番組を作りたいとの思いでスタートした。京都や地域で活動する方をゲストにお招きして、これからの社会を生きるヒントをいただきたいと思っている。ナビゲーター2人が各々ゲストを呼んでいる。

■2022 年 12 月 26 日放送回を聴いて審議に入った

・30分と長尺だが、時間を感じさせないとても有意義な内容。CMが入らないのであればコーヒープレイク的に番組内で出てきた著書の紹介を入れても良かったのではないかな。

・番組としては4回目ということで、回を重ねるごとに番組としてのテーマができていくと良い。局制作ということは、この番組の趣旨がラジオカフェのカラーになっていく。お呼びするゲストのイメージはあるのか。

→藤本ナビゲートの回では、ヤングケアラーに携わる方・あしなが育英会などを想定している。大きな社会制度から外れた、マイノリティ的な立場にある、関わっている人の声を発信していきたい。

ナビゲーターによってゲストが変わるのであればなおさらである。

・質問に対して話が広がっていく展開で、対話になっていた。番組趣旨が見えてこないの、質問や要所要所に番組趣旨にそった内容があると、全体として安心して聴くことができる。ゲストに依存した良さなので、構成としての良さに持っていければ。

・ゲスト回以外にも、ナビゲーター2人が趣旨にそって話す回や時間を設けるなど、構成を工夫することができるのではないかな。

・他の回では、ゲストの話を趣旨にそって引き出すような感じになっていない。また技術的に、コンプレッサー等によって音が切断されているのでハラハラする。

・活躍されている方はすでに話を持っているので“聞く”姿勢だが、これからは、話を持っていない人からも話を“聞き出す”技術を培ってほしい。

この審議会の議事録は2022年12月22日から事務所で閲覧できるようにした。

この審議会の2022年12月22日からWEBサイトで公開した。